

地球温暖化対策実施状況報告書

2019 年7月 日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市都筑区荏田東四丁目10番4号

氏名 株式会社横浜都市みらい
代表取締役社長 森本 剛

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社横浜都市みらい 代表取締役社長 森本 剛				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市都筑区荏田東四丁目10番4号				
主たる事業の業種	大分類	F 電気・ガス・熱供給・水道業			
	中分類	35 熱供給業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	5,622	kl	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

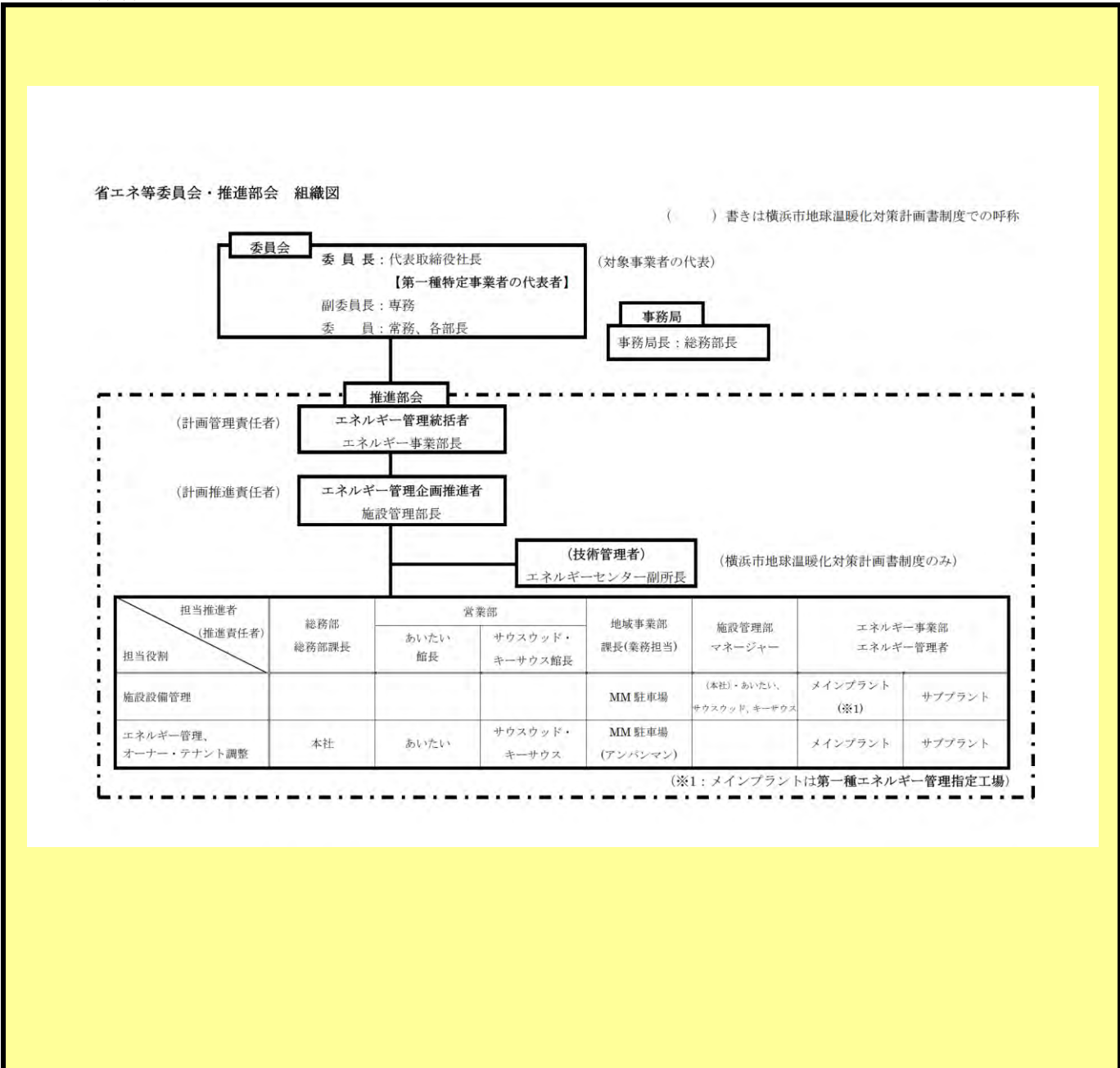
計 画 期 間	2016	年度	～	2018	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	----	---	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <p>1. 当社は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」「温室効果ガスの排出の抑制に関する指針」に則り、実効ある温室効果ガス排出量の削減に努め、地球温暖化の防止に寄与することを継続的に推進します。</p> <p>2. 当社は、日常の事業活動においては省エネルギーや温室効果ガスであるCO2排出の抑制に努め、計画的に行う設備更新時には、技術的、経済的に可能な範囲で、高効率の設備に置き換え、更なる省エネルギーや温室効果ガスであるCO2の排出削減に努めます。</p> <p>3. 上記の基本方針に基づき、本計画は平成28年度～平成30年度に当社が温室効果ガスの排出の抑制又は削減に取り組む行動計画を示したものであります。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 メインプラント：吸収式冷凍機DAR-1（1500RT）更新、吸収式冷凍機DAR-5をターボ冷凍機（640RT）へ更新</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 経年劣化による。</p> <p>③設備更新スケジュール メインプラント：吸収式冷凍機DAR-1（1500RT）更新：平成27、28年度実施、吸収式冷凍機DAR-5をターボ冷凍機（640RT）へ更新：平成29、30年度実施</p>
--

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社横浜都市みらい
	所在地	横浜市都筑区荏田東四丁目10番4号
	閲覧可能時間	営業日の午前9時30分～午後5時00分
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	3,291	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	3,254	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	3,067	t-CO ₂	削減率	6.8 %		削減率	6.8 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 熱供給事業部門の中間期におけるボイラーの一時休缶処置 2. 熱供給事業部門のボイラー室給気ファン停止（11月～3月） 3. 熱供給事業部門の各種ポンプの高効率化更新 4. 熱供給事業部門の吸収式冷凍機更新 5. 熱供給事業部門のターボ冷凍機更新 6. 商業施設の屋上照明一部消灯の継続 7. 商業施設のLEDランプへの切り替え 8. 共通部門の不要な照明の消灯、空調の温度管理の継続 9. 以上によるエネルギー使用量の削減に伴うCO₂排出量の削減 								
事業者全体としての目標等	1. 目標年度の30年度の排出量には、平成29年9月取り壊し予定のアルカエフの排出量101 t-CO ₂ /年(減)を含む。								
第一年度 (2016年度)	排出量	3,221	t-CO ₂	削減率	2.1 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	3,163	t-CO ₂	削減率	2.8 %		削減率	5.2 %	
目標等の達成状況及び説明	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所全体ではエネルギー使用量が対前年比2.8%増となった。 ・あいたい館（商業施設）は、空調を利用する期間が短期的に集中し、常時、立ち上がり、切り上げを意識して、空調を調整したことで前年よりも電力使用量を抑えることができた。 ・エネルギー使用量の多い熱事業本部での熱販売量増加、高効率機器の運転停止（2ヶ月間）に伴い燃料使用が増加したが、CO₂換算係数の低下により、CO₂排出が減少した。 								
第二年度 (2017年度)	排出量	3,346	t-CO ₂	削減率	▲ 1.7 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	3,211	t-CO ₂	削減率	1.3 %		削減率	▲ 4.1 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>メインプラントでは吸収式冷凍機を高効率吸収式冷凍機に更新したことによる省エネ効率向上、ターボ冷凍機分解整備による運転減少及び販売熱量減少の影響によりCO₂排出が減少した。一方、商業施設等に関しては、営業時間拡大、増築等の理由によりエネルギー使用量が増加した。これらにより、全体のCO₂排出は増加した。</p>								
第三年度 (2018年度)	排出量	3,167	t-CO ₂	削減率	3.8 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	3,002	t-CO ₂	削減率	7.7 %		削減率	1.8 %	
目標等の達成状況及び説明	エネルギー事業部における熱販売量の増加、キーサウスの増築による使用量の増加があったが、前年度に実施したあいたい館LED化が通年で寄与したことにより、全体のCO ₂ 排出量は減少した。								
計画期間全体の排出状況に関する説明	計画期間内で熱販売量の増加や商業施設の増築に伴う使用量の増加があり、目標排出量には達しなかったものの、計画した設備更新による省エネ効率向上や、運用による排出量削減努力により基準年度比では排出量を削減した。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	1	1,255	1	1,196	1	1,165	1	1,264
1,500k l 以上 3,000k l 未満	0	0	0	0	0	0	0	0
500k l 以上 1,500k l 未満	1	1,518	1	1,481	1	1,607	1	1,345
500k l 未満	5	518	5	544	5	574	5	558
合計	7	3,291	7	3,221	7	3,346	7	3,167

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	7/7	—	年度		実施済	7/7	—	年度		実施済	7/7	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	7/7	—	年度		実施済	7/7	—	年度		実施済	7/7	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	7/7	—	年度		実施済	7/7	—	年度		実施済	7/7	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	6/6	—	年度		実施済	6/6	—	年度		実施済	6/6	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	1/2	—	2019年度	経営状況を勘案し平成29年度以降に実施予定	実施済	2/2	—	年度		H29年度に「あいたい館」LED化を実施	実施済	2/2	—	年度	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 伊簡煙管式蒸気ボイラ3基 吸収式冷凍機5基	8/8	年度		実施済	(設備の種類) 伊簡煙管式蒸気ボイラ3基 吸収式冷凍機5基	8/8	年度		実施済	(設備の種類) 伊簡煙管式蒸気ボイラ3基 吸収式冷凍機5基	8/8	年度		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 吸収式冷凍機5基 7-8 冷凍機1基	6/6	年度		実施済	(設備の種類) 吸収式冷凍機5基 7-8 冷凍機1基	6/6	年度		実施済	(設備の種類) 吸収式冷凍機5基 7-8 冷凍機1基	6/6	年度		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 伊簡煙管式蒸気ボイラ3基	3/3	年度		実施済	(設備の種類) 伊簡煙管式蒸気ボイラ3基	3/3	年度		実施済	(設備の種類) 伊簡煙管式蒸気ボイラ3基	3/3	年度		
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 伊簡煙管式蒸気ボイラ3基	3/3	年度		実施済	(設備の種類) 伊簡煙管式蒸気ボイラ3基	3/3	年度		実施済	(設備の種類) 伊簡煙管式蒸気ボイラ3基	3/3	年度		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類) ヲツケ、ノ、ノ	10/10	年度		実施済	(設備の種類) ヲツケ、ノ、ノ	10/10	年度		実施済	(設備の種類) ヲツケ、ノ、ノ	10/10	年度		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	/	年度	工業炉の設備なし	非該当	(設備の種類) /	/	年度	工業炉の設備なし	非該当	(設備の種類) /	/	年度	工業炉の設備なし	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類) コンプレッサ2基	2/2	年度		実施済	(設備の種類) コンプレッサ2基	2/2	年度		実施済	(設備の種類) コンプレッサ2基	2/2	年度		
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) コンプレッサ2基	2/2	年度		実施済	(設備の種類) コンプレッサ2基	2/2	年度		実施済	(設備の種類) コンプレッサ2基	2/2	年度		

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度				
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

（注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		%													
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
														千円	
														千円	
														千円	
														千円	
														千円	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	165	東京電力エナジーパートナー(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	クールビズ（5月～10月末）、ウォームビズ（11～4月末）を実施した。
第二年度実績	クールビズ（5月～10月末）、ウォームビズ（11～4月末）を実施した。
第三年度実績	クールビズ（5月～10月末）、ウォームビズ（11～4月末）を実施した。

14 実施状況等に対する自己評価

クールビズ・ウォームビズの実施により、執務室等の適切な空調温度管理を行い、CO2排出抑制に努めた。
